

読書推進協  
優良グループ

# 「牧水を旅する」を表彰

1/24 紀行文を読み、足跡訪ねて牧水顕彰

延岡市の読書会「牧水を旅する」(九鬼勉代表、10人)が、今年度の公益社団法人読書推進運動協議会「優良読書グループ」に選ばれた。22日に同市役所で表彰式があり、九

鬼代表(67)が県読進協会長の金子洋子(県立

図書館長から表彰状を受け取った。

優良読書グループ表彰は、読進協が毎年行う読書週間事業の一

つ。原則5年以上活動しているグループを対象に、各都道府県読進協の推薦を受けた1地域1グループずつを表

彰している。51回目の平成16年4月に発足。毎月第4土曜日に延岡市立図書館で若山牧水の紀行文の読書会を開くほか、歌が詠まれた背景に触ることを目的に、牧水の足跡を訪ねる研修旅行などを行い、郷土の偉人である牧水に関する知識を深めている。

伝達式では金子会長が九鬼代表に表彰状を手渡して「(文学者としての)牧水を生んだ町延岡で、皆さんの活動が牧水に光を当ててくださっている」。澤野幸司教育長が「牧水を愛する気持ちからスターとした活動が、市民の牧水を愛する活動に広がっている」と同会の貢献に感謝した。



「優良読書グループ」に選ばれた読書会「牧水を旅する」のメンバーと、県読書推進運動協議会の金子会長(前列左端)、延岡市の澤野教育長(前列右端)、丸山奈緒美延岡市立図書館長(後列左端)

金子会長から表彰状を受け取る九鬼勉代表

九鬼代表は「牧水の紀行文は歌以上に素晴らしい魅力がある。読むと現地を旅している気になる」と魅力を紹介。受賞を喜び「牧水は郷土の宝であり市民の誇り。今後も活動を通して顕彰していく」と話した。

2019. 1. 24

# L1玉何と3千円



店頭に並び始めた「空飛ぶ新玉ネギ」(きょう午前、Aコープ一ヶ岡店)

J.A延岡が全国に誇るブランド野菜「空飛ぶ新玉ネギ」がきょうから、延岡市内のスーパーや小売店などに並び始めた。けさは延岡総合地方卸売市場(牧町)で初競りが行われ、Lサイズ1玉300円という過去最高の「ご祝儀価格」で取引された。昨年よりも2日早い初出荷となつた。

空飛ぶ新玉ネギは、早生(じくわせ)種の規格に適したものを指す。軟らかくて刺激臭が少ないのが特徴で県内外で人気が高い。収穫期は1~3月。

## 空飛ぶ新玉ネギ

きょう  
初競り

延岡

J.A延岡によると、平成31年産は台風の影響を受けることなく、定植以後も天候が大きく崩れることがなかつたため、順調に生育。昨年の取扱量約30tを大幅に上回る約40tを見込むという。作付け面積は例年並みの6ha。

ただ、同市場によると初競りに関しては、見込みの100ケース(1ケース20玉)を大幅に下回る15ケースと少なかつた。1ケースしかなかつたLサイズ(玉直徑8cm)は関係者も「今まで聞いたことがない」と驚く1玉3000円。Mサイズ(同7~8cm)も「ご祝儀価格」で1玉400円で扱われ、参加し

J.A延岡は今後展開を「暖冬なので玉が肥大しうしや3Lも出回り始めるだろう」と予想しており、全国発送は2月から始めたいと考えている。昨年の平均取引価格は313円だった。

たけの金業者ごとに  
「おー!」と歓声が上がった。

唯一のLサイズを競り落としたAコープ一ヶ岡店(延岡市北一ヶ岡)の佐藤雄一店長は「初物なので消費者に提供したい思いで、価格がいくらになつたのではないか。それにしてもこんなに高くなるとは」と驚きつつも、すぐに野菜売り場の一角に専用コーナーを設け、赤字覚悟の1玉398円で売り出していた。

J.A延岡は今後展開を「暖冬なので玉が肥大しうしや3Lも出回り始めるだろう」と予想しており、収穫量も安定してくるだろう」と予想してお